

こんな活動です

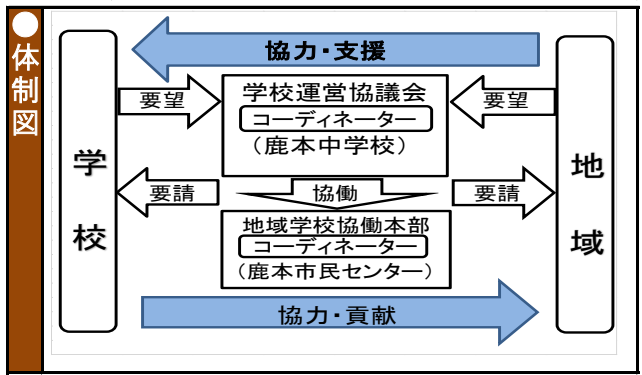
ボランティア活動が 地域と学校つなぐ

～ コーディネーターは、地域要望の調整役 ～

| | | |
|--------|-------------------|-----------|
| 熊本市山鹿市 | ●活動名 | ●関係する学校名 |
| | 地域に貢献し、地域に愛される鹿本中 | 山鹿市立鹿本中学校 |

| | | | | | | | |
|--------------------|--|----------------|--------|-------------|------|----------|-------|
| 協働活動開始年 | 平成 29 年度 | 関係学校数 | 1 校 | のべ学級数 | 9 学級 | のべ児童・生徒数 | 219 人 |
| 活動区分 | 学校支援活動 | 地域課題解決学習 | — | | | | |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | 地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数 | | | | |
| | 1人 | | 1人 | | | | |
| 学校運営協議会 | 指定・設置日 | ボランティアの数 | 延べ登録人数 | 企業・NPO等との連携 | 無 | | |
| | 平成29年10月1日設置 | | 190人 | | | | |
| 参考URL | y-kamotoih@educet03.plala.or.jp | | | | | | |

| | | |
|------|----------------|----------------|
| ●連絡先 | 山鹿市教育委員会 社会教育課 | ☎ 0968-43-1651 |
|------|----------------|----------------|



●活動の概要・経緯

鹿本中学校区は、古くから県北の文教の地として知られ「地域の子どもは地域で育てる」という機運にあふれており、地域・保護者によるあいさつ運動や登下校の防犯パトロールなど以前から行われてきた。平成29年のコミュニティ・スクール導入に当たっては、学校と保護者、地域にアンケートを実施し、その結果を基に4つの「目指す生徒像」を設定し、「地域とともにある学校」の実現に向けて取り組んできた。生徒会活動三本柱の1つとして「ボランティア活動」を掲げ取り組んでいる。これまでも授業の一環として生徒が地域に出向く活動があり、地域からの支援を受けるという色合いが濃かったが、学校と地域がWin-Winの関係となるには、教育活動外でも生徒が地域に出向き、地域に貢献することが重要で、それが「地域とともにある学校」づくりにつながるものと考え、学校応援団等の地域からの支援に加えて、生徒からの地域貢献を目指したボランティア活動は、鹿本中と地域の互いの活性化を目指して取り組む活動となっている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「目指す生徒像」に対して、学校運営協議会、生徒会、校務分掌をリンクさせて取り組んでいった。
- ②中学生の要望を学校運営協議会で取り上げたことで、ボランティア活動の拡大と活性化につながった。
- ③地域の要望をより多く吸い上げるために、ボランティア呼びかけのチラシを地域に配布した。
- ④地域からの要望、生徒のニーズや特技にあわせて、生徒のボランティア人材バンクを作った。
- ⑤学校運営協議会委員に「コーディネーター」になってもらい、地域要望の中から生徒が活動できるものを選定し、ボランティア派遣する仕組みを作った。
- ⑥1日保険に加入することでボランティア活動には生徒だけが出向き、教員は行かないようにした。

地域と学校が互いに連携し、win-winの関係であるために、実際の活動が双方に過度の負担にならないことを考え配慮をした。一過性でなく継続性があることが、学校・地域に根付いた活動となり、双方が持続的に活性化されていくことにつながると考え、学校運営協議会と連携し、地域の協力を得て、中学生ボランティア呼びかけのチラシを地域に配布した。学校と地域を結ぶコーディネーターが地域からの要望を聞き受け、その要望内容を選別し学校と連絡を取り合い、生徒ボランティアの派遣を決定している。学校は生徒募集を行い、ボランティア人材バンクを活用して参加者名簿を作成し、コーディネーターに渡し実践につなげた。活動に必要な費用は、ボランティアを行う地域が負担している。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

ボランティアに参加した生徒は、活動での交流を通して地域の方々とのふれあうことよさやボランティア活動に対する達成感を感じることができた。地域の方に声をかけてもらうことで、自己有用感が高まり、自尊感情をより高めることとなった。地域の方からも感謝の手紙が寄せられ、学校の教育活動への理解も高まった。学校という空間から地域社会へと目を向け地域に出向き、自分たちで考え、積極的に地域と関わる中で、自分たちが地域を笑顔にできることを実感している。Win-Winの関係にこだわることで地域と学校をつなげるだけでなく、個人個人がつながるきっかけになっている。

●その他

【学校から地域への活動】○地域サロン会活動○地元夏祭お化け屋敷企画運営、金魚すくい等補助、祭翌日の清掃○小学校サマースクール学習支援○地区文化祭片付け○公民館花植え○保育園読み聞かせ等【地域から学校への活動】○短歌・書道指導支援○学校花壇の整備○道徳授業GT○地元図書館読み聞かせ○職業講話講師○あいさつ運動○登下校防犯パトロール等



地元新聞販売店の協力を得て配布したボランティアらし

し、このボランティア活動を通じて、地域の方々とつながり、地域に貢献できることを実感している。また、ボランティア活動を通じて、生徒のリーダーシップやコミュニケーション能力が向上している。今後も、地域と学校が協力し、地域に貢献できる活動を実施していく予定である。



地区文化祭の後、片付けボランティア